

二〇二五年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【博士後期課程】

専門科目

日本史学 コース

※解答は別紙（縦・横書）

「一」（古代）・「二」（中世）・「三」（近世）・「四」（近・現代）のうち、自分の専攻する時代の問題を選んで解答せよ。但し、複数の時代を選ぶことはできない。

問「一」（古代） 次のA・B二問に答えよ。

A 次の史料を読んで問いに答えよ。

廿二年冬十一月甲寅朔甲子大將軍物部大連
產屋大親與賊所襲并交戰於筑紫并郡旗鼓
相望炭麿相接建武南降之間不避万死之地遂
斬蟹井果定壇場十二月筑紫君萬子怒生交誅
獻糟屋七倉求贖死罪

（1）全文を読み下せ。

（2）全文を現代語に訳せ。

（3）傍線aについて知るところを述べよ。

※WEB掲載に際し、左記のとおり出典を追記しております。

『尊経閣善本影印集成 26 日本書紀』所収「巻 17・継体 22 年 11 月甲子条」、八木書店、2002、前田育徳会所蔵。（前田育徳会の許可なくこの画像を複製することをは禁止されていきます。）

B 次の史料を読んで問いに答えよ。

- (一) 常用漢字を用いて、全文を読み下せ。
- (二) 全文を現代語に訳せ。
- (三) 本史料に記されていることについて、知るところを述べよ。

大政官謹奏
應賜元品親王食封事
右奉勅件封戸大同三年七月十九日詔奏云一品已下食
封并四位位祿等並據令訖但先經具賜更不收返其加階進級
之日即便迴給各得其所天大同三年七月十九日式云元品親王
食封二百戸男中並同但叙位之後一從停止者今於奏意元
品内親王叙四品之日封給一百五十戸然則元品之日其封二百
戸叙品之時還失五十戸之所在良不穩便宜議之奏聞者
謹依勅旨商量件封戸大同三年論奏依令已訖然則女音
良宜半減内親王在令半之年元經具賜食封論奏更不收
返謹敘事狀伏聽 天裁謹以聞謹奏 奉勅依奏
大同三年七月廿二日

※WEB掲載に際し、左記のとおり出典を追記しております。

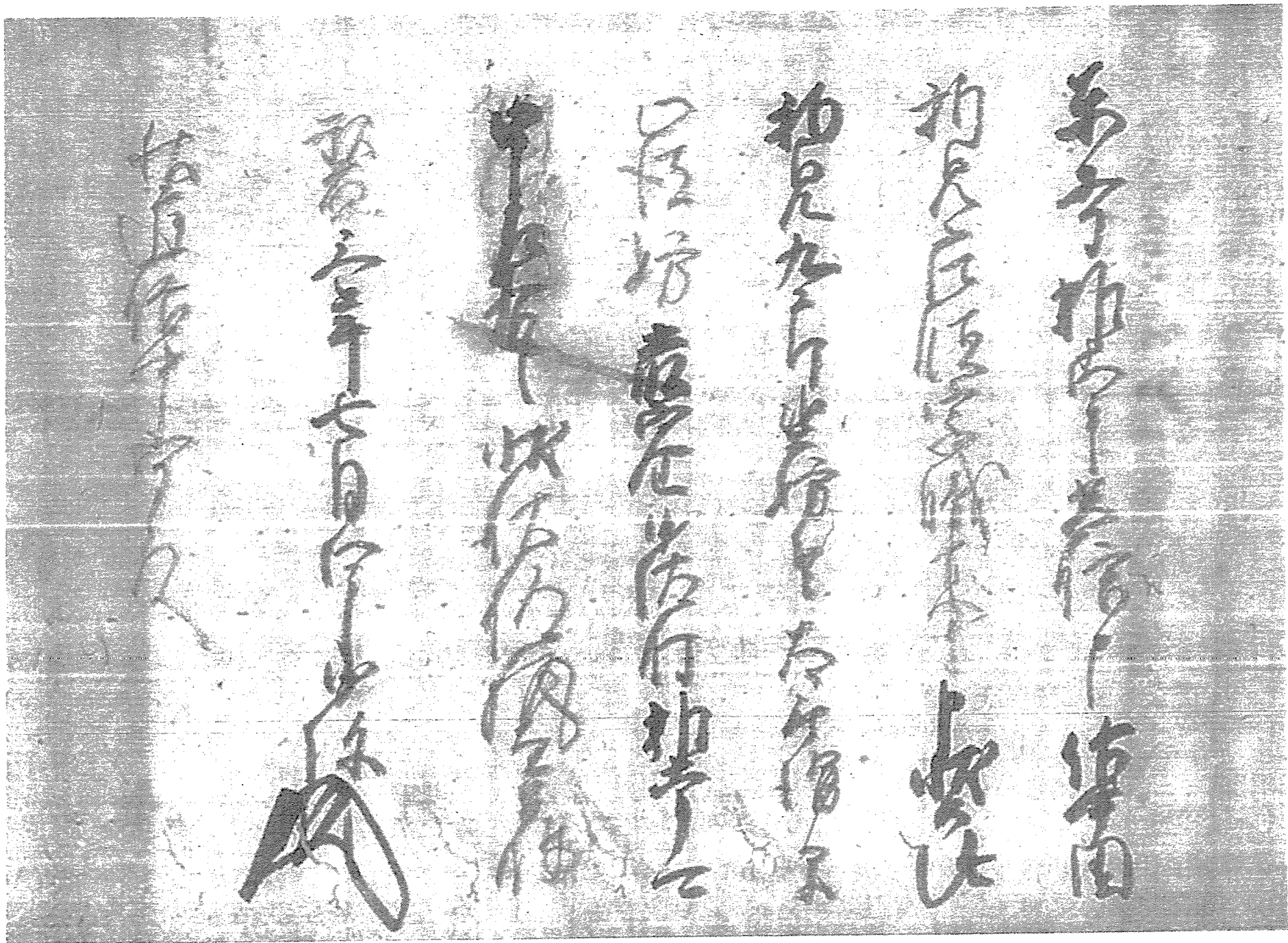
『尊経閣善本印影集成 37 類聚三代格 1』、八木書店、2005、前田育徳会所蔵。

（前田育徳会の許可なくこの画像を複製することをは禁止されています。）

B (1) 左の史料の釈文を記せ。

(2) 左の史料の読み下し文を記せ。

(3) 左の史料の、文書としての様式や機能について説明せよ。



※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

京都府立京都学・歴彩館東寺百合文書WEB 木函/29/3/ 室町幕府引付頭人奉書

A 左の史料は、享保元（一七一六）年の「葉隠」冒頭部分の写本である。これを読んで設問に答えよ。

(2) 史料中にみえる「日峯様」(佐賀藩祖鍋島直茂)・「泰盛院様」(初代藩主鍋島勝茂)の治世は

世に家職を親しむ事いふ多し家職ハ不務あるは他職と

面白ういふ邊
教へは、
軟く是に
家職、
勉め、
能く、
中、
之、
目、
業、
種、

奉還流振之い王何成し西武原ハ名義職と親しむ古くハ素

は操便下のいふふとよりよむと志の成りはに思ふ事なり

日暮城邊草芳
下盤
担てしに血みどろ
小瓶
切拵て
支差煙と

取之於民也如市
無所取也

場をいへば、初め國と云ふ成にち終るべし。御世の末に少くも

乃以道中の要害ヲ留す。此は徳赤也。又日乃以若乃佛經之

沙任公
日學稼沙書人書家也方取三石之六而南分之年

ふあきほもぞや年ふふに長久の命ふを仕むる事し養年

少少解世之知者通之

紫水失聲多上下因筋一因卵とふ
如とく丸とふと海とる

可也。此中「老」字、人曰「死」字、在「老」之時、或曰「身」と云ふ事、

きて来るにぞ
 残るは事なりし
 品は簾をよと
 りてんり
 女

是月下之葬也。生有教。育小者。亦以是位。立之於

二〇二五年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【博士後期課程】

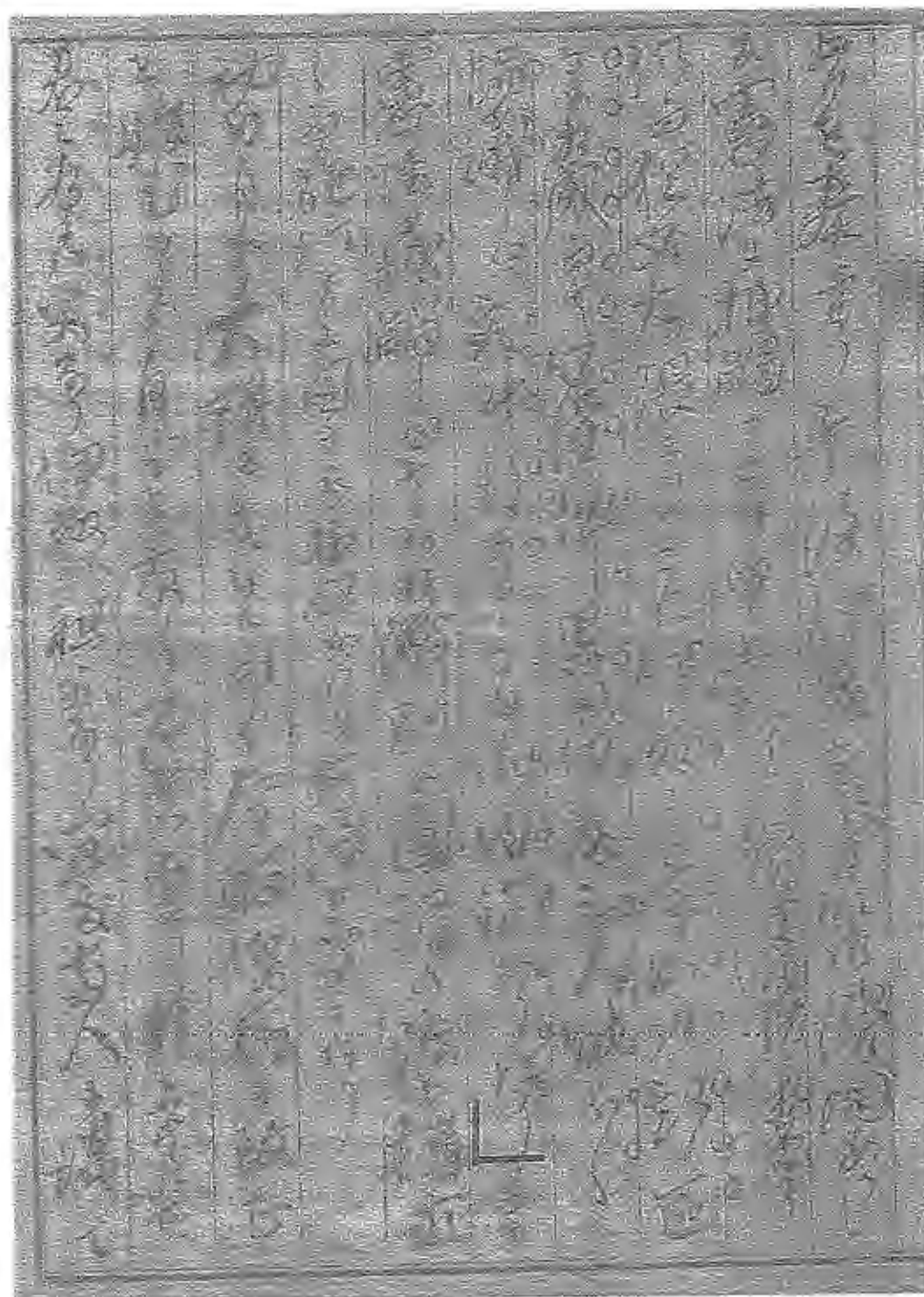
専門科目

日本史学 コース

※解答は別紙（縦・横書）

問「四」（近・現代） 以下のA・B二問に答えよ。

A 次の史料を読んで問いに答えよ。

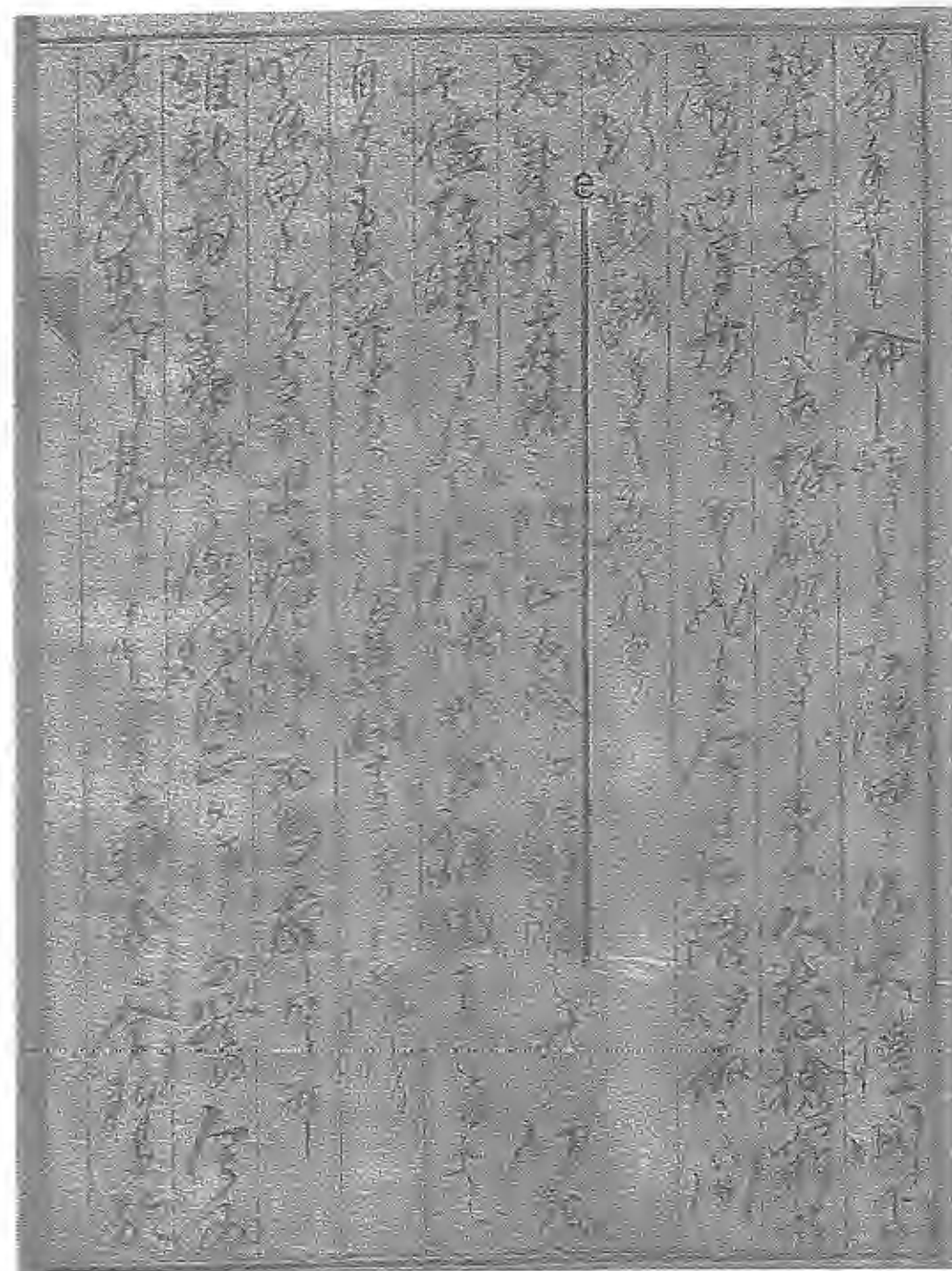


※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

『養浩堂私抄 人』国立国会図書館デジタルコレクション

<https://dl.ndl.go.jp/pid/11536074/1/22>

<https://dl.ndl.go.jp/pid/11536074/1/23>



※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

『養浩堂私抄 人』国立国会図書館デジタルコレクション

<https://dl.ndl.go.jp/pid/11536074/1/22>

<https://dl.ndl.go.jp/pid/11536074/1/23>

- (1) 傍線aの人物について知るところを一〇〇字程度で述べよ。
- (2) 傍線bは何が憲法に抵触するという議論が起きたのか、五〇字程度で解説せよ。
- (3) 傍線cの人物について知るところを一〇〇字程度で述べよ。
- (4) カギカッコdの部分全文翻刻せよ。
- (5) 傍線eの経緯について五〇字程度で解説せよ。
- (6) この史料にかかれてある時期の社会状況や世相について一〇〇字程度で解説せよ。

二〇二五年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【博士後期課程】

専門科目

日本史学 コース

※解答は別紙(縦・横書)

- (1) この史料がいつ書かれたものか、西暦で答えなさい。
- (2) 括弧Aの箇所を楷書で記しなさい。
- (3) 傍線aの人物について知るところを二〇〇字程度で記しなさい。
- (4) 括弧Bの箇所を楷書で記しなさい。
- (5) 傍線bの人物について知るところを二〇〇字程度で記しなさい。
- (6) この史料の冒頭部分で言及されている事件と、当時の政界動向について三〇〇字程度で説明しなさい。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

———ここから記入すること———

日本史学

※選択分野に○を
記入すること

- ・古代
- ・中世
- ・近世
- ・近現代

総 点

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

———ここから記入すること———

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——